令和８年 10 月

ＣＣＡＭＬＲ（南極の海洋生物資源の保存に関する委員会）年次会合の結果について

１　ＣＣＡＭＬＲ（南極の海洋生物資源の保存に関する委員会）

南極の海洋生物資源（メロ、オキアミ等）の保存管理を目的とする国際機関。メンバーは、日本、豪州、中国、米国、露、ＥＵ等 26 か国・1 地域。

２　日時・場所

10 月 19 日（月）から 10 月 30 日（金）まで、ホバート（豪）で開催。

３　我が国出席者

森下農林水産省顧問（我が国代表）ほか、水産庁、外務省、経済産業省、国立研究開発法人水産研究・教育機構、国立大学法人東京海洋大学及び業界からの関係者が参加。

４　結果

（１）**次漁期（2026 年 12 月から 2027 年 11 月）のメロの漁獲上限が合意**。我が国の漁船（メロ底はえ縄船１隻）が近年主に操業している海域（48.6 海区）の総漁獲上限は **820 トン**（前漁期：713 トン）となった。

（２）南極海の一部を**海洋保護区（ＭＰＡ）とする提案等**が改めて議論されたが、合意には至らず、**継続協議**となった。

（３）次回の年次会合は 2027 年 10 月にホバート（豪）で開催予定。